



生田 政代  
公明党  
(35分)

**健康寿命を延伸する取り組みは**

**問** ①本市の健康寿命の現状は。  
②ひろしまヘルスケアポイントとは。

**答** ①健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間で、平成27年本市においては男性79・35歳、女性84・44歳である。



門田 雅彦  
公明党  
(40分)

**ラジオ体操による健康寿命の延伸への取り組みは**

**問** ラジオ体操の有効性についてどう考えるか。

**答** ラジオ体操は、誰もが気軽に行える健康法として今日まで長く受け継がれており、継続して行うことにより柔軟性を高めたり、筋力の低下を防止したりするなど

②健康寿命の延伸をめざし、県と市町が共同実施する「ひろしまヘルスケアポイント」は健康づくりに取り組みことで、パソコンやスマートフォンを通してポイントのため、協賛店で割引等の特典を受けられる仕組みである。ポイントがたまる事業は、県内共通のものとしては、健康診断の受診、毎日の歩数・体重の記録、献血などがある。加えて本市では、健康ふくやま21フェスティバルや市が管理するスポーツ施設の利用などでもポイントをためることができ、運動機能の活性化につながり、体力向上と健康の維持・増進が図られる有意義な運動である。

また、ラジオ体操は、さまざまな世代の人たちが、同じ時間に同じ場所で行うことにより、世代間交流や高齢者の孤立防止、見守りなど、地域福祉やまちづくりにもつながるものと考えている。本市では、ラジオ体操の普及に向けて、毎年ラジオ体操講習会を開催し、市民の健康増進に役立つとともに、指導者の育成に努めている。



宮本 宏樹  
公明党  
(40分)

**公共施設の再整備は**

**問** 加茂町内の公共施設の再整備についての考えは。

**答** 今後、地域の方と十分議論する中で、地域の活性化につながる施設となるよう、施設の集約・複合化に向けて検討していく。

**高齢者施策は**



奥 陽治  
公明党  
(40分)

**若者の自立支援事業は**

**問** ①青少年自立支援事業は。  
②生活困窮者への支援の方法は。  
③いじめの相談体制は。

**答** ①今後、社会体験活動プログラムの新たな周知方法等を検討するとともに、創意工夫したプログラムにより、引きこもりがちな青少年の社会参加を促せるよう多

**問** ①認知症者の徘徊対策は。  
②介護ロボットの導入推進は。

**答** ①家族などからの行方不明届により、市のメール配信サービスやラジオ放送等を活用して徘徊高齢者等の早期発見を図っている。徘徊高齢者は、市境を越えて移動することが想定されるため、平成30年度から事業対象市町を備後圏の6市2町に広げる予定である。②平成28年度に介護ロボット導入促進事業を実施し、見守りや移動支援などのためのロボットを導入した法人に対して補助を行った。

様な活動機会を提供していく。また、個々の実情に応じた支援策として、NPO法人等とのネットワークづくりの推進を加え、効果的な支援の在り方等を検討していく。②相談者本人や家族の状況を聞き取る中で課題整理と原因分析後関係者による支援調整会議を経て支援プランを決定し、伴走型支援を行い、自立につなげている。③現在、各学校が行っているいじめ等の早期発見、早期対応の取り組みを継続するとともに、電話相談窓口などを児童生徒が気軽に利用できるよう周知、啓発に努める。